

# 事例3

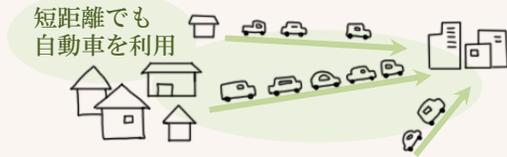
# 低炭素まちづくり計画

パーソントリップ調査のデータでは、自動車の移動実態（移動距離や出発地、到着地）が分かります。

## 低炭素まちづくり計画などで環境負荷の小さい都市構造の検討に活用できます

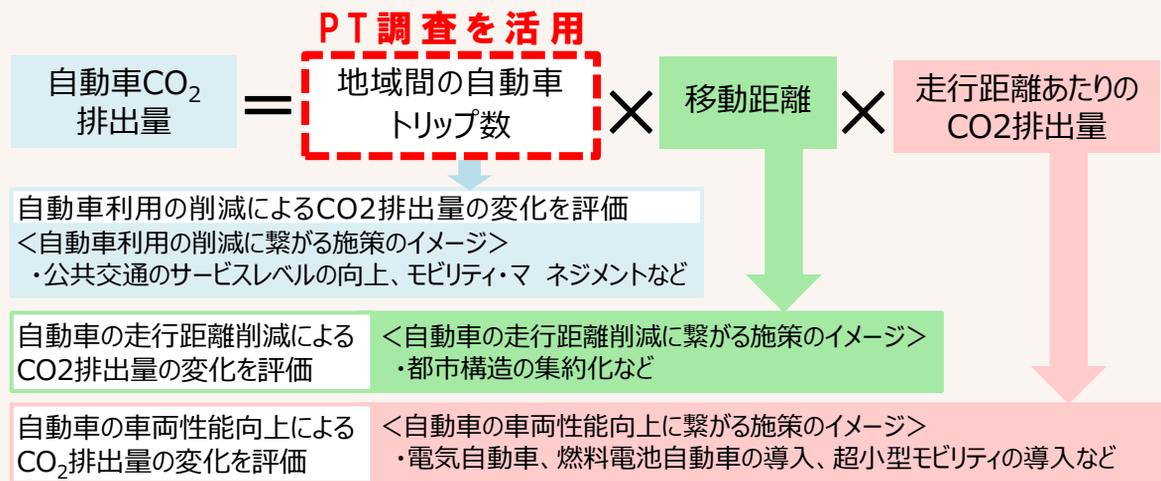
自動車利用などで環境負荷が大きい地域が分かると・・・

集約型都市構造やエコモビリティ導入地域の検討に活用できます



### — PTデータからわかること ① —

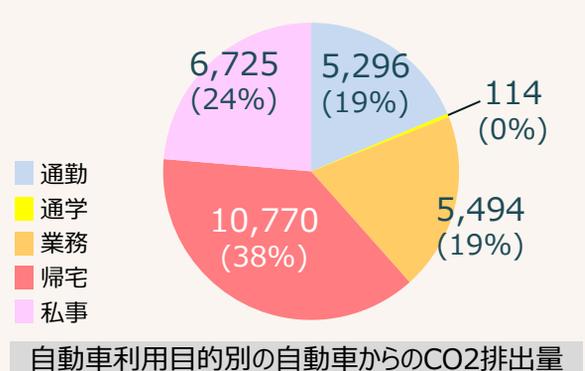
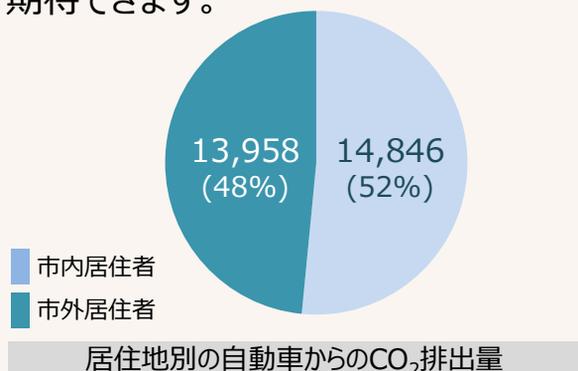
人の交通をもとに、自動車の利用回数、移動距離、走行距離あたりのCO2排出量を用いることで、都市構造および交通施策の効果を試算することができます。



### — PTデータからわかること ② —

市内居住者と市外居住者による自動車トリップからのCO2排出量は同程度で、通勤、業務、私事それぞれ同程度のCO2排出量となっています

バス網を強化し、市外居住者の自家用車利用を抑えることで、CO<sub>2</sub>排出量の削減が期待できます。



資料：H20東京PT調査より推計

— PTデータからわかること ③ —

志木市における自動車からのCO2排出量を推計すると、約29,000t-CO2/年であることがわかります。

地区別に見ると、志木駅周辺や幸町3丁目、柏町4丁目などで高くなっていることが分かります。

志木駅周辺でシェアサイクルなどの環境負荷の少ないモビリティを導入すると、CO<sub>2</sub>排出量の削減が効果的に行えます。

	市内々		市内外		合計
	自動車	自動車	鉄道端末自動車	小計	
自動車トリップ数(人トリップ/日)	9,078	38,922	1,351	40,273	49,351
(構成比)	(18%)	(79%)	(3%)	(82%)	(100%)
自動車トリップ長(人キロ/日)	16,593	484,369	5,880	490,249	506,842
(構成比)	(3%)	(96%)	(1%)	(97%)	(100%)
自動車CO2排出量(t-CO <sub>2</sub> /年)	943	27,527	334	27,861	28,804
(構成比)	(3%)	(96%)	(1%)	(97%)	(100%)

資料：H20東京PT調査より推計

地区別の自動車からのCO2排出量

